

報道関係各位

岩手県立大学及び岩手大学の学生に サウジアラビア大使館から感謝状が贈られました

本学の学生が岩手大学と共同で活動するグループが、サウジアラビア大使館から感謝状を贈られましたのでお知らせします。

これは、サウジアラビアの国費留学生在が3月21～23日に一関工業高等専門学校において小型電気自動車「PIUSを用いたモノづくり人材育成プログラム」の授業を受けた際に、岩手県立大学及び岩手大学の学生が講師役として協力したことによるものです。

4月20日（月）に、サウジアラビア大使館より贈られた感謝状のうち、本学の学生2名分を鈴木学長から本人に伝達いたします。

当日の取材・報道についてよろしく申し上げます。

記

1 日時：平成27年4月20日(月) 10:30

2 場所：岩手県立大学 学長室

※当日、取材の際は本部棟3階エレベーターホールにお越しく下さい。

3 内容：サウジアラビア大使館からの感謝状の伝達

4 学生：ソフトウェア情報学部3年 平野 竜 (ELEViX 代表)

社会福祉学部3年 小笠原 果美

5 経緯：一関市の株式会社モディー (MODI) が開発している電気自動車を利用して、一関高専が教材を開発している。石油の次の産業を模索しているサウジアラビアが同教材に注目し、研修の開催をモディー社に打診。モディー社が一関高専に相談し、県南広域振興局・一関市とともに産学官の対応体制を構築して3/21～23に同国からの留学生を対象として研修を開催した。上記の教材の開発に関与してきた岩手大学学内カンパニーと岩手県立大学 E プロジェクトの二大学連携組織「ELEViX」(エレヴィックス・代表 岩手県立大学ソフトウェア情報学部3年 平野竜) に実技の講師の依頼があり、岩手大学から4名、岩手県立大学から2名が講師として参加。研修とその後の懇親会において留学生との交流を深めたことに対し、サウジアラビア大使館から感謝状が贈られた。

【問合せ先】 岩手県立大学 企画室 企画広報グループ 三輪 019-694-2005